

2019年1月16日

## 踏切と～まれ！

### 『厳寒季の踏切事故防止キャンペーン』を行います！

JR北海道では、1月21日から1月30日まで、凍結路面でのスリップ等による踏切事故の防止を図るため「厳寒季の踏切事故防止キャンペーン」を実施します。

これから本格的な厳寒季を迎えるにあたり、道路はますます滑りやすい状態になることが想定されます。そこで「厳寒季の踏切事故防止キャンペーン」では、社員及び交通関係協力団体による踏切・駅頭での啓発活動などを通して「踏切手前での確実な一旦停止と安全確認」「早めのブレーキとスピードダウン」など、踏切での安全通行をドライバーに呼びかけます



踏切事故防止キャンペーンの様子

#### ■実施期間

2019年1月21日(月)から1月30日(水)までの10日間

#### ■実施内容

##### ◎踏切における安全通行の呼びかけ

- ・ ラジオCMの放送
- ・ 列車内ポスター掲出による呼びかけ
- ・ 踏切等でのリーフレット、ポケットティッシュ配布
- ・ 列車内での業務用放送での呼びかけ
- ・ 特急列車の客室内情報表示装置での呼びかけ
- ・ 関係機関・企業及び各団体等への呼びかけ
- ・ 札幌駅コンコースでのパネル展による踏切事故防止の呼びかけ

#### <本年度冬期（12月以降）に発生した踏切事故>

2018年度の踏切事故は2件（1月14日現在）発生しています。

- ・ 12月6日、石北線 南永山～東旭川間の北1丁目道路踏切で、軽自動車踏切手前で止まりきれず、回送列車の側面に衝撃。
- ・ 12月11日、根室線 御影～平野川間の学校通り踏切で、自動車が踏切手前で止まりきれず、特急列車の側面に衝撃。

※いずれの事故も道路路面はアイスバーン状態でした。